



みんなで高知の子育てをサポートします！

つむサポコミュ

子育てサークルなどの団体や個人と協力して、妊娠期から子育て期まで地域で気軽に不安や悩みを相談できる場を作り、安心して子育てができる環境づくりを進めます。



高知県内で子育て応援活動を行っている団体や個人が、お互いに知り合って情報交換を行うための交流会が2回にわたり開催されました。いずれの交流会も託児室を設け、お子様連れでも安心して参加頂くことができました。

子育て交流会

2023年 10/29(日) 10:00~12:00

会場 こうち男女共同参画センター「ソーレ」

「絵本との出会い、そして迷路と楽しいおはなし」と題して、迷路絵本作家やまおかゆかさん（高知市在住）をゲストにお迎えしました。やまおかさんは子どもたちに大人気の「おばけやしきめいろブック」（金の星社）など多数手がけています。

コーディネーターは花房果子さん（ママアナおはなし隊）。絵本の読み聞かせ活動を行っています。参加者は花房さんを囲んで絵本の読み聞かせに耳を傾けました。やまおかさんとのトークセッションでは、迷路絵本の制作秘話や本への想いなどのお話に参加者は興味津々、絵本との向き合い方や、心豊かな親子のコミュニケーションなどについても語られました。和やかな雰囲気なかで参加者全員が発言、「多様な意見や想い、人を知る機会にもなり、活動のヒントになりそうです」と好評でした。



▲花房さんの読み聞かせ



▲迷路制作の裏側も見せてくれました



楽しかったです

母校に取材をして学校の迷路を作りましたよ



コーディネーター
花房果子さん

講師 やまおか ゆかさん
高知市生まれ 高知市在住
迷路絵本作家 イラストレーター

子育て交流会 in

いの町

2024年 1/8(月・祝) 10:00~12:00

会場 すこやかセンター伊野

県内で活動している、3つの子育てネットワークが登壇し取組を発表、意見交換を行いました。ネットワークの構成メンバーは、子育て支援センターや主任児童委員、社会福祉協議会などの団体や個人で子育て支援活動を行っている方などです。メンバー同士の意見交換の場づくりや、子育て家庭を対象としたイベントなどの開催についての取組を発表いただきました。

- 江ノ口地区子育てネットワーク「江ノ口こそサポ」（高知市江ノ口地区）
- いの町子育てユニット「こそユニ♡い〜の」（吾川郡いの町伊野地区）
- くろしおっこネットワーク（黒潮町・四万十市）

コーディネーターは花房果子さん。和やかな進捗が話しやすい雰囲気を醸し出し、参加者同士、発表者への質問や自分の活動の課題などリラックスして意見交換することができました。子育てネットワークには男性も参画していて、お父さんの役割がこれからますます存在感を増しそうです。

最後に県から子育て応援の店で割引などのサービスが受けられる「高知家子育て応援パスポートアプリ【おでかけるんだパス】」の紹介がありました。

※P6に詳しく掲載

よろしくお祈りします



江ノ口こそサポ



こそユニ♡い〜の



くろしおっこ
ネットワーク





高知市



黒潮町



高知市

県内各地の子育て支援活動をご紹介します



高知市



佐川町



高知市



土佐町

遊びのチカラを子育て支援に お父さんも一緒に楽しむ「おもちゃの広場」

こうちあそびマルシェ



こうちあそびマルシェ Instagram

代表 濱田 奈央さん

kochi.asobi.marche@gmail.com

東京おもちゃ美術館がセレクトした“グッド・トイ”で楽しく遊ぶ「おもちゃの広場」。オレンジ色のタペストリーが目印です。高知県産木材を使った木のおもちゃや手作りおもちゃなども用意しています。“グッド・トイ”とは、毎年、全国の「おもちゃコンサルタント」の推薦・投票で選ばれている信頼できるおもちゃです。遊びを通じて五感を磨き、コミュニケーション能力を養い、夢を育てる手助けになるおもちゃとして選ばれています。

「おもちゃ」と「遊び」の子育て・交流サロン「おもちゃの広場」を開催しているのは、保育士さん3人で運営する「こうちあそびマルシェ」。2022年11月から「遊び」をテーマにした活動を行っているグループです。

代表の濱田奈央さんは「おもちゃコンサルタント」。東京おもちゃ美術館を運営するNPO法人「芸術と遊びの創造協会」が養成している、おもちゃの専門家です。「おもちゃコンサルタント」になると、全国のおもちゃ美術館に展示されているおもちゃを借りて、地域で「おもちゃ広場」を開催することができます。

メンバーは普段、高知市内にある地域子育て支援センターで勤務しています。支援センターは平日に開所が多く、訪れるのはほとんどお母さん。お父さんにも気軽に訪れる場を作りたいとの気持ちがあり、お父さんの参加しやすい日曜日に「おもちゃの広場」を開催し大好評です。

おもちゃで子どもと遊ぶ時は、遊んであげるのではなく「一緒に楽しもう」という気持ちが大事と濱田さん。参加している保護者からは「子育ての話や、おもちゃ選びのアドバイスなどもしてくれて参考になります」「見たことないおもちゃに出合えるのも嬉しいですね」と大好評。なにより子育て支援にまっすぐな心の持ち主の、濱田さんをはじめスタッフと交流できるのが魅力です。

お父さん、お母さん、子ども、誰もが気軽に集える地域のサロン、それが濱田さんたちの「おもちゃの広場」です。



楽しいおもちゃと
優しい笑顔がいっぱい

世代間の垣根はゆるやかに 火曜と金曜のお楽しみ

黒潮町佐賀交流センターみらい 佐賀おでかけ広場

さち
伊尾木 祥子さん

あったかふれあいセンターさが
(黒潮町佐賀 920) 0880-31-4807

黒潮町の『佐賀交流センターみらい』は図書館と放課後子ども教室、『あったかふれあいセンター』（以下あったか）の3施設を集めた施設です。

ここでは、毎週火曜日と金曜日に『佐賀おでかけ広場』（以下おでかけ広場）が開催されています。

『おでかけ広場』の開催は火曜日だけでしたが、夏休みに遊びに行くところに不自由する親子のために金曜日も開いたところ、継続を熱望する多くの声に押されて3月まで延長することになりました。町外に住んでいて休みなどで里帰りしている親子も参加できます。

運営者の1人は元保育士の伊尾木祥子さん。『おでかけ広場』にやってくるお母さんたちには、保育園の頃から伊尾木さんにお世話になっていた方も多く、更に『あったか』に通って来られる方はその親世代。伊尾木さんが地域の核となって小さなお子さん、小中学生、またその親世代にまで気軽に集まって来られる雰囲気を感じています。

伊尾木さんのアイデアたっぷりの手作りおもちゃで子どもたちが遊んでいる様子を、我が子にかかわらず見守って注意する雰囲気ができています。通りすがりの中学生達も気軽に伊尾木さんと言葉を交わしています。

『おでかけ広場』は、『あったか』のすぐ隣で開催しているので、地域の皆さんが気軽に交流できています。来所された方たちも、「涙が

出るほどかわいいわ〜」と思わず笑顔。『あったか』の壁には、『おでかけ広場』の子どもたちと一緒に写した写真が沢山掲示されていました。

『おでかけ広場』の時間が終わった後も、園庭で遊んでいた親子さんに声をかけて伊尾木さんがご自身の絵本コレクションから1冊お化けの本を読んでくれました。やっぱり読み聞かせはみんな大好き。伊尾木さんの明るく楽しい笑顔がゆるやかな垣根となって世代を超えた交流につながっています。



伊尾木さんの
手作りおもちゃが
いっぱいです

多胎育児家庭ならではの子育ての悩みや不安

つながることで気持ちが楽になるように

ツインズ プチポワ こうち

代表 杉原 香織さん

<https://ameblo.jp/petits-pois-2021-3/>
070-4394-5085 (杉原)

多胎児サークル「ツインズ プチポワ こうち」は、2021年3月に5人のママ達が立ち上げ、現在は代表の杉原さんを含む4人の多胎児ママ達で運営している子育てサークルです。

多胎児（双子、三つ子またはそれ以上の子ども）の妊娠出産は単胎児に比べて身体的・精神的・経済的な負担が大きくなります。産まれてからもおむつ替え、授乳回数の多さ、心身への負担など単胎家庭とは異なった子育ての仕方や悩みごとがあり、周りに気持ちが分かってもらえないなどで追い詰められてしまいます。

いざ出かけようにも大人1人での外出はハードルが高くなります。そんな時でもサークル仲間と協力をすればお外遊びに出かけやすくなり、子どもにいろいろな経験をさせる機会が増え、みんなで子どもたちを見守りながらおしゃべりを楽しむこともできます。

同じ双子、三つ子の多胎児ファミリーや、妊婦さん間での情報交換・交流の機会があることで、先輩家庭にどうやって乗り切ったかなどのお話を参考にしたり、同じ悩みを持つ仲間と共感したり、一人じゃないと実感できています。同じような多胎育児家庭とつながりを持つことで安心し仲間たちが支えとなり気持ちが楽に、楽しく過ごせるようにとサークルを運営されています。

「ツインズ プチポワ こうち」の活動は、基本的に月1回。みんなで集まってお菓子作りなど屋内の活動もありますが、公園での風揚げ、季節のお花見、コスモス祭りやみかん狩りに出かけるなど様々

な活動を開催しています。

現在、新型コロナウイルス流行前に比べ参加者が少なくなっていることや、ボランティアさん不足、会場の確保などがこれからの課題となっています。

多胎児サークル「ツインズ プチポワ こうち」は、多胎児を育てるご家庭の方ならどなたでも参加できます。ママもパパも一緒にサークル活動を楽しみましょう。



パパと一緒に
クッキー作り！
みんな真剣そのもの



mamadaisuki LINE

今後は赤ちゃん家庭を対象に ランチや交流会を開催 ままだいすき

代表 寺村 妙さん
mamausagi0823@gmail.com

子育てサークル「ままだいすき」は、「子育て支援センターの休館日に何かやってほしい。」と依頼を受けて寺村さんが2019年に立ち上げたサークルです。当初から現在まで寺村さんが1人で運営を続けてきました。

ご自身の仕事も忙しい中ここまで続けてこられたのは、ママ友や活動していく中で出会ったママ、仕事の仲間、地域の方々、子育て世代包括支援センター、子育て支援センターの方々がアドバイスをくれたり、助けてくれたからです。

活動は基本的に月1回で、高知市や芸西村などで開催しています。決まったメンバーがいる会ではないため、開催ごとにSNS等で参加者を募集する形で続けてきました。新型コロナウイルス流行時には1年間休みましたが、自粛期間も明け活動を再開し、徐々に参加者が増えてきているので現在は楽しんで活動できています。

課題としては、ママ達が参加しやすい時間帯で駐車場のある会場を押さえることが厳しくなっていることです。また、参加者の減少や活動費が少ないこともあり活動を継続することが年々難しいと感じていることに加え、子育て支援センターなど公的な施設での子育て支援が充実してきたこともあり、今年度でいったん子育てサークルとしての活動を終了されます。

ご自身の子ども達も大きくなり、活動する中でアドバイスのな立ち位置にすることが増えてきて、子育てをお手伝いするという時期

になったと実感された寺村さん。今後はその役割に移行してサポートしていけたらと考えています。

これからは子育て世代包括支援センターとの共同開催や、寺村さんの事務所（高知市曙町）で1歳までの赤ちゃんの家族を対象に、気軽にランチ弁当とおやつを食べて、のんびりと交流するスタイルでの小規模な会を開催していく予定です。



ママ達が
気軽に参加できる
交流会を！



佐川町で元気に活動する子育てサークル！身近な野草「よもぎ」のように 身近で気軽に集える場所を目指します

佐川町子育てサークル よもぎ



佐川町子育てサークル【よもぎ】Instagram

佐川地区で活動する子育てサークル「よもぎ」自然と触れ合い、笑顔が増えるコミュニティーを作ろうと2023年5月に設立されました。代表の田所元香さんはリンパトリートメント施術で心身を癒すサロンのオーナー。サークル名の「よもぎ」は道ばたに自生している草木の名前、食用にしたリアロマテラピーや民間療法に気軽に使える身近な植物のひとつです。そんな「よもぎ」の特性にあやかり、未就園児親子のみならず、小学生や保護者、友達同士などでも気軽に集える遊びや交流の場を提供したいという想いで発足しました。

4人の子ども達のお母さんでもある自身の経験から孤独や不安になりがちな子育て世代を応援したいと、地元の佐川町内の公民館や保育園の協力を得て、楽しい体験を大人にも子どもにも共有してもらう内容や構成を心がけているそうです。日常のさりげない話題などもお話しできる雰囲気づくりも大切にしています。

初年度となった「つむサボ講座」は2回実施。P☆シアターさんを招いてパネルシアターを開催、毛羽立ちのあるパネル布を貼った板を舞台と見立て、紙人形や絵などを貼ったり外したりしながら、おはなし、歌あそび、ゲームなどを楽しみました。子ども達がお手製の紙芝居を披露するコーナーも設けるなど、参加者からの評判は上々。「そんな反応にとっても勇気づけられます」と田所さん。

今後は、牧野公園などを擁する佐川町の豊かな自然に触れ合う体

験などを企画していきたいと張り切っています。子どもたちの交流も、ゆくゆくは中学生や高校生など幅広い世代にも参画してもらえたらと願っています。

ママ友4名のメンバーでスタートしたばかりの団体活動、試行錯誤中のところもありますが元気と優しさはいっぱいです。写真や動画が得意なメンバーが記録や発信を担っていて、佐川町子育てサークル【よもぎ】Instagramも開設しました。地域の皆さんの協力も得ながら着実に歩みを進めています。



自然とふれあい、
みんなで遊ぼう！



地域全体で運営を支援する子育てひろば 公民館が子育ての交流の場に

子育てひろば しんまち

代表 山下 文子さん
088-842-3313 (山下)

毎月第1水曜日の10時過ぎ、ベビーカーや徒歩で乳幼児を連れてお母さんやお父さんが1組、また1組とやってきます。ここは高知市横浜新町にある横浜新町東公民館。昨年5月から「子育てひろば しんまち」を開催しています。

公民館館長の神木さんから山下さんに、公民館の活用について相談があったのは一昨年の秋。山下さんは、新たな子育てひろばを設置することを提案しました。

横浜新町保育園で園長として以前に勤務していた山下さん。ご自身のネットワークを活かし、元保育士さん、保健師さん、看護師さんなど19名のボランティアスタッフが集まりました。しかし備品の整備、会場のエアコン使用料、ボランティア保険など活動を継続・充実していくには運営費の確保が欠かせない問題です。

そこで神木館長さんは、横浜新町の各町内会に相談をして、町内会費から協力をいただくことができました。高知市の助成金や民間の基金なども活用しました。また、設置を知った住民の方からは、おもちゃや絵本などの備品の寄付もたくさん集まりました。

ボランティアスタッフの他、地区の主任児童委員さん、公民館の運営委員さんも運営に加わり、まさに地域全体で子育てひろばを支援しています。神木館長さんは、日ごろの活動を通じて横のつながりができ、地域の情報も多くなっていると話されます。

お邪魔した日はクリスマス会ということで、いつもは2グループ

に分かれ交代で運営しているボランティアスタッフも勢揃い。横浜中学校の生徒さんたちも手作りのクリスマスカードを持って、遊びに来てくれました!!

広い室内は、ボランティアスタッフと親子の交流や中学生と赤ちゃんのスキンシップ、お母さん同士のおしゃべりなど地域で子育てを見守る温かい気持ちがいっぱいのひろばになっていると感じました。



地域の子育てを
みんなで見守るよ!



土佐町立図書館 Facebook

豊かな時間を生みだす絵本の力

土佐町読書推進コーディネーター

古川 佳代子さん
土佐町立図書館 0887-82-1800

古川さんは、土佐町での三年間の地域おこし協力隊としての任期を終え、2023年4月から「土佐町読書推進コーディネーター」として勤務されています。

現在、学校図書館及び土佐町立図書館で町内の読書環境を整える仕事に従事しています。学校図書館では図書購入計画や貸出業務のほか、地域ボランティアの方々とともに小学1年生から6年生に本の読み聞かせも行っています。土佐町立図書館では、大人のための読書会やハロウィンやクリスマス会の実施、講演会やコンサート、映画上映会など様々な企画を開催されています。

そんな古川さんに「本」と「子育て」について伺いました。

「本は人が人として成長する過程で出会って欲しいものの一つですが、本だけあればよいというものではありません。『いないいないばあ』という長く読み継がれている絵本があります。でも赤ちゃんが生まれて初めて体験する「いないいないばあ」は、お父さんやお母さんが赤ちゃんをあやしてくれる「いないいないばあ」でなくてはダメですね。それを何度も繰り返し経験したあとに絵本で追体験するから、赤ちゃんは絵本のいないいないばあも楽しい、面白い、と感じるのではないかな、と思います。絵本は無くとも子は育つ。でも子育ての中に絵本がある事は、子どもと親と双方にとって豊かでかけがえのない、心地よい時間を共有させてくれます。読み聞かせをしている時間が生みだす、親密なお互いだけの思い出を作ってくれるものだと思っています。」と、コメントを頂きました。

さて、土佐町は2025年～2026年頃に新しい図書館ができる予定だそうです。古川さんは新しい図書館に「子どもの本や子育てのヒントになる本をはじめ、幅広い年齢層の方の興味関心に応えられる本を揃えたい」、「安心して小さい子どもを連れて行ける場所の一つに図書館がなるように工夫したい」、「子育てに悩んだとき、頼りにしてもらえ場所」、「高齢の方たちや障がいがある方にも気軽に立ち寄っていただけるバリアフリーな場所」、「これといった目的がなくてもふらっと行ける場所にしたい」との思いを語られました。

今後、新しい図書館は町民、行政、図書館関係者の話し合いのものと作り上げて行く予定で、図書館が「みんなにとって敷居の低い場所」であるようにとの古川さんの新図書館への熱い思いを聞かせて頂きました。



赤ちゃんから
高齢者まで、図書館で
新しい出会いを!



子育て支援のネットワーク作りがすすんでいます

地域ぐるみで子育て応援 11月26日(日) 9:30~11:30 比島交通公園

第2回 江ノ口地区こそサポまつり (子育てサポート)

昨年に引き続き、江ノ口地域で活動する個人や団体同士が手をつなぎ子育て世代のサポートをできたらいいなどの思いがこめられたイベントです。

今年は比島交通公園で開催し、約100名のご家族が屋内外のブースをまわって楽しみました。地域の3保育園も出展、丑之助学園は、今年も巨大松ぼっくりを使ったクリスマスツリーづくりが大人気。用意した材料はすべてなくなりました。高知聖園マリア園は特製のたこやき☆マンボ、巨大たこやきボールを投げ入れるたびに「マンボ！」と保育士さんの声援で大盛り上がり。明德義塾中高校和太鼓部の勇壮な演奏もあり、参加者や周辺住民などを魅了しました。屋内では江ノ口保育園が身長体重測定ブースを開設、発達支援センターしんほんまちの職員も加わり、気軽に発育などの質問をできる雰囲気作りにも気を配りました。その他にも多世代交流サロンれんこんのむかしあそびコーナーや高知市母子保健課の離乳食の相談コーナーなどもあり、地域住民の応援を実感できる、子育て世代には心強い「こそサポまつり」となりました。

マンボ〜!



▲高知聖園マリア園
たこやき☆マンボゲーム



▲明德義塾中学・高等学校
和太鼓部



▲丑之助学園 松ぼっくりの
クリスマスツリー



▲むかしあそびコーナー
多世代交流サロン「れんこん」

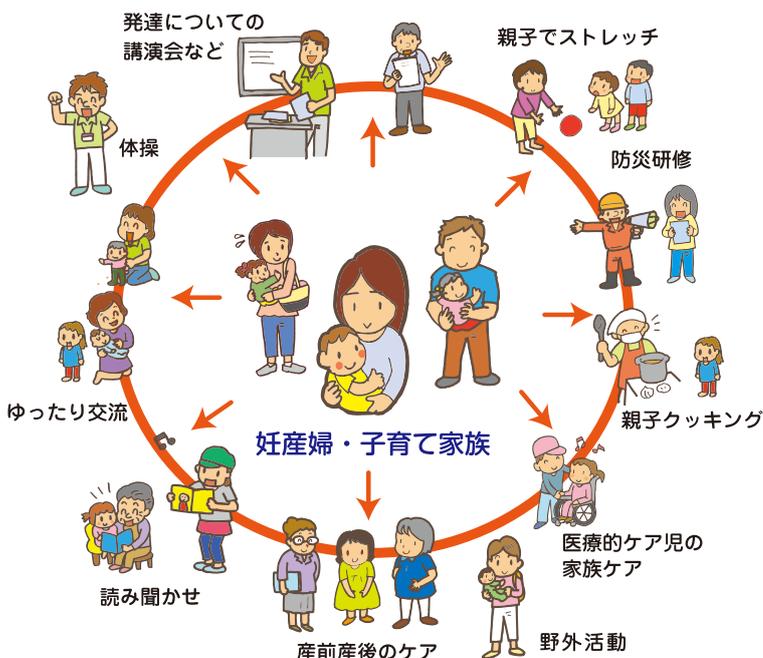


若い太鼓の音で
元気がたよ!



▲江ノ口保育園 児童発達支援センターしんほんまち
「身長体重測定コーナー」

「つむサポ」事業は子育てサークルなどの団体や個人と協力して、妊娠期から子育て期まで地域で気軽に不安や悩みを相談できる場を作り、安心して子育てができる環境づくりを進めるものです。県子育て支援課より、認定特定非営利活動法人NPO 高知市民会議が委託を受けて行っております。



つむサポ 運営事務局

(認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議)

〒780-0862

高知県高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階

高知市市民活動サポートセンター内

電話 088-820-1540 FAX 088-820-1665

✉ info@shiminkaigi.org



令和5年(度) 妊娠・出産・子育て支援講座

みんなで つむサポ



高知の子育て応援ウェブメディア
ココハレ



つむサポ講座と子育て交流会の情報は、高知の子育て応援ウェブメディア「ココハレ」でも掲載しています

おでかけするんだパス

高知県子育て応援パスポートアプリ



アプリをダウンロードして、
優待券や子育て応援の店が
わかるよ!

子育てに役立つ情報やお得な特典いっぱい!

1 子育て応援の店でサービスが受けられる

アプリを使えば地図や条件で子育て応援の店を検索できます。また、優待券の表示が出来るのですぐに提示できて、簡単にお得なサービスを受けることができます。

2 子育て応援の店や子育て関連施設からの情報が受け取れる

子育て応援の店が実施するイベント情報、お住まいの市町村や子育て関連施設のイベント情報、子育て支援に関する情報が受け取れます。イベントによってはアプリ内カレンダーに表示されるので、いつでもイベントがあるのかが分かりやすいです。

3 アプリ内で楽しいキャンペーンを開催

子育て応援の店や子育て関連施設(地域子育て支援センター、図書館等)に来店・来所するとポイントが貯まり、嬉しい景品が抽選で当たるおでかけキャンペーンのほか、アプリ内で様々なキャンペーンの開催を予定しています。皆さん是非ご参加いただき、子育てに役立つ商品などをゲットしてください!

こうちプレマnet
妊娠・出産・子育て応援サイト

